

親子で船橋漁港の見学と三番瀬・東京湾クルージング！

【支援金確定額：112,508円 支援率：50%】

取材日：平成23年（2011年）7月30日

■どのような活動をされていますか？

私たちは出来るだけ多くの市民、企業、大学、行政などに参加を呼びかけ、東京湾に僅かに残された三番瀬の豊かな自然環境を保全する為、ラムサール条約に登録することを目的として活動しています。

具体的には年間行動計画を基に勉強会、観察会、シンポジウムなどを開催するとともに、市の行事にも参加しています。市民の皆様の声を署名用紙に託した署名活動も行っています。



■支援金をどのように活用されますか？

これまで、ふなばし三番瀬海浜公園で親子を中心とした観察会を開催してきましたが、今回は3月の東日本大震災で同公園が閉鎖されたため、「親子で船橋漁港の見学と三番瀬・東京湾クルージング！」に変更しました。

具体的には…

- ・船橋漁港で水揚げされた魚介類の写真、実物展示とその説明
- ・乗船して貝殻島、しらせ、三番瀬、ディズニーランド沖、若洲公園沖、ごみ処理場を廻って説明
- ・帰港後、漁港を眺めながら、三番瀬の食文化（特製の三番瀬シーフードカレー）を味わう



これらの体験を通して、船橋漁港が「スズキの水揚げ日本一」であることなど船橋の漁業の大切さや、三番瀬干潟の重要性について理解していただきます。また、東日本大震災以降も三番瀬・東京湾が豊かな漁場であることを“親子で三番瀬の食文化をじっくり味わう”ことで分かって頂ければと思っています。

■今後の活動の抱負を教えてください。

干潟の楽しさと船橋の海の素晴らしさを理解してもらい、三番瀬に関心を持つ大人や子供たちが増えることで、船橋市の三番瀬クリーンアップ作戦などの諸活動に参加する人々を増やしていきたいと思えます。

～取材を終えて～

夏休みに入り、当日は28組の親子が参加されました。会場では水揚げされたばかりのスズキなど新鮮な魚介類が展示され、子供たちは珍しそうに見たり触ったり……。そして、定員一杯の参加者を乗せていよいよ出航！。貝殻島への上陸を楽しみ、三番瀬の浅いところでは水深が120cmしかないことを確認し、係留中の元南極観測船「しらせ」を間近に見るなど、解説付きの夏のクルージングを参加者ともども十分に堪能しました。帰港後は、皆さんと一緒に特製の“三番瀬シーフードカレー”を味わいましたが、本当に美味しいカレーでした。この様なイベントを通じて、地元で生活している子供たちをはじめとした多くの市民に、船橋漁港の特色と魅力、そして三番瀬の保全に向けた必要性を訴え続けることが、団体の掲げる目標実現へ向けての大事な活動であることを実感しました。

■関わり先（連絡担当者）：事務局 渡辺 優子（わたなべ ゆうこ）

TEL：047-422-0722

E-mail：yuko-lapislazzuli25@nifty.com